

ページ

だけの方、お子さんのス
話を募集しています!
課まで。

テレビでは連日「〇〇公園のつっ
じが、△△寺のしゃくなげが見頃を
迎えています」と、盛りを迎えた花
の様子を映しています。家の近くにも
きつとそんな花の名所があるはず。
あなたはいくつ知っていますか?

◎前回の答え (5/1) と当選者

問1 - ①みんな 問2 - ②イチイ

問3 - ③原動機付自転車

正解総数22通 (応募総数22通) の中から抽選で、石原
靖偉さん (長地柴宮2)、北澤有紀子さん (長地権現
町2)、戸田綾子さん (川岸東1)、早川武雄さん (中
央町2)、山田ひで子さん (長地柴宮1) に記念品を
お送りします。



問1 岡谷市の水源にもなっている表
紙の川は何川?

答え ①天竜川 ②隅田川
③横河川

問2 市の職員が直接出向いて説明す
るまちづくり講座のことは?

答え ①出前講座 ②出張講座
③おでかけ講座

問3 地球温暖化防止のために〇〇家
計簿をつけてみましょう。

答え ①地球 ②環境 ③簡単

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号をお書
きになり、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所 (住所
不要)》まで。6月20日の消印まで有効。ひと言書きそえて
くださるとうれしいです。(ひと言は15日号の「みんなの声」
のコーナーへ掲載させていただく場合があります)

市民しポーター だより

小平陽子さんの
SO その後 レポート No.2

笑顔を見せていました。
5月にはSO諏訪のアスリート達が松本アルウィンで
のJ2リーグで選手と手をつなぎ、入場しました。保
護者の手をはなれ、人の多い会場での初めての事とし
たが、アスリート達は大きなパニックを起こす事なく
無事選手をエスコートできたそうです。Jリーガー
や、サッカー協会の方々の配慮も大きな力になった
様です。
このような活動を通じて、皆に知ってもらい、目
にしてもらう事で地域で一緒に暮らしていく大切さ
を共に感じあえるといいですね。

SO (スペシャルオリンピックス) 諏訪プログラムでは、スピードスケート、水泳
に続き、この春から陸上が始まり、今回はその活動に参加させてもらいました。SO
ではスポーツ活動を行う知的発達障害の方達をアスリートと呼びます。3才から大人
の方まで諏訪湖畔に集合し、まずは準備運動。最初はバラバラだったのが回を重ねる
ごとに皆の動きも落ち着いてきています。それからゴールを目指し、各々
のペースでスタート。途中で座り込んでしまったり、かと思うとすごい速さで走
り出したり、行きつ戻りつしたり。しかしながら、コーチもアスリートの個性を
よく知っていて、意思を尊重しながら笑顔で付き添っていました。
スポーツの技術向上でなく、まずは楽しさを感じる事が最初の目標です。外気
にふれ、体を動かすと心身共に爽やかにになり、皆、気持ちの良い
笑顔を見せていました。



楽しくふれあいながら準備運動



連絡先

SO諏訪副会長 (スポーツ担当) 植松 昌枝
☎・FAX 62-5508
E-mail uematsu@konomachi.or.jp

ヤングナウ NOW YOUNG NOW

No.182

みんなの

一品料理を紹介していた
ナップ写真、また身近な
地域振興



できる範囲で
要望に応えたい

くろ はた やす あき
黒畑 泰明 さん

(神明町1)

- Q ヤマト運輸(岡谷神明センター)にドライバーとして勤務されている、黒畑泰明さん。
- Q お仕事は何年目?
- A 半年になります。事業所や各家庭を回り、集荷や配達をしています。主に大竜町、湊を担当しています。
- Q どうしてこのお仕事を?
- A もともと車の運転が好きだったので、楽しそうに感じただからです。
- Q 大変なことは?
- A 体力も必要ですが、限られた時間で効率的に仕事をこなすために、頭を使います。やることは決まっています。が、仕事は一人でやるので、自分で判断して行動できるところがいいですね。
- Q お客さんと接する時間も多
いと思いますが?
- A お客さんには、時間の指定を守れなくて怒られた事もあるし、逆に頼まれて指定時間外に配達し、感謝されたこともありです。仕事なので、できる範囲でお客さんの要望に応えていきたいですね。
- Q 休日は何してる?
- A 友達と出かけたりしますが、休日くらいは、と車の運転は友達に任せています。サッカーをしたり、見たりすることも好きです。
- Q 将来の夢は?
- A 今は実家にいるのですが、親元を離れて一人立ちできるようにになりたいです。

キア
Kia ora!!

国際交流員の セーラ・アキレス です No.8

姉妹都市

今年、岡谷市とアメリカ合衆国ミシガン州にあるマウント・プレザント市の姉妹都市締結40周年であります。先月、この40周年を記念するために、通訳として、林市長と今井市議会議長と一緒にマウント・プレザントを訪問しました。初めてマウント・プレザントを訪問して、多くの人に暖かく迎えられました。この4日間、市内の施設、マウント・プレザント高校、2002年来岡したサギノー・チップワ・インディアン・トライブの博物館、セントラル・ミシガン大学等を見学し、かけがえのない時間を過ごすことができました。



今回の訪問を通して、岡谷市とマウント・プレザント市の姉妹都市関係は形だけではなく、深い友好と信頼関係が

築かれていると確信しました。これは毎年行なわれてきた文化・教育交流の成果だと思います。

交流の成果の中でもとりわけ、今年18回目となる高校生生活体験事業は、参加した高校生にとっても、受け入れた家庭にとっても、貴重な経験になり、それぞれの人生に何らかの影響を与え、国際理解、国際交流、姉妹都市交流を深めるきっかけとなりました。今回マウント・プレザント高校を訪問したとき、以前高校生生活体験に参加した生徒に会うことができました。一年前岡谷に来た彼らは懐かしそうに岡谷のことを語り、マウント・プレザント市のネルソンパークで行なわれた記念植樹と「岡谷通り」の命名式に来てくれました。彼らは、今年の8月に岡谷市からの高校生を迎えることを楽しみにしています。

